



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ルネサンス

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 田中 俊和  
兼財務本部長

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,063	5.6	964	33.1	890	4.9	498	7.3
25年3月期第2四半期	19,005	4.8	724	39.4	848	77.1	464	284.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.33	—
25年3月期第2四半期	21.74	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,776	10,461	36.4
25年3月期	27,042	10,176	37.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,461百万円 25年3月期 10,176百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	7.4	2,750	44.5	2,500	25.0	1,215	19.0	56.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	21,379,000 株	25年3月期	21,379,000 株
26年3月期2Q	376 株	25年3月期	376 株
26年3月期2Q	21,378,624 株	25年3月期2Q	21,378,733 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
【注記事項】 .....	9
(四半期貸借対照表関係) .....	9
(四半期損益計算書関係) .....	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係) .....	9
(株主資本等関係) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和を背景に円安・株高基調に転じる等、全体としての景況感は徐々に改善されつつありますが、平成26年4月に予定されている消費税増税による民間消費への影響の懸念もあり、なお先行き不透明な状況が続いております。

そのような中、フィットネス業界においては、前事業年度に引き続き利用者数や会員数が増加傾向で推移しております。また、政府の成長戦略のひとつである健康・医療分野において、「国民の健康寿命の延伸」が目標として掲げられたことは、国民一人ひとりの健康増進に対する意識の高揚に大きく寄与するものと期待しております。

当社におきましては、“より多くの方が効果を実感し、継続していただけるクラブづくり”を目指し、「運動の効果を感じていただくこと」、「クラブへの帰属意識を持っていただくこと」を重点に、会員とのコミュニケーションに取り組んでおり、当第2四半期会計期間末の既存クラブ（新規出店や閉店等を除く、同一条件での比較が可能なクラブ）の在籍会員数は、前年同期に比べ0.7%増となりました。また、全社の在籍会員数は、新規出店クラブの集客が順調に推移したこと等により、前年同期に比べ3.4%増となりました。

当第2四半期累計期間における施設の状況は、新規施設として、4月にルネサンス幕張（千葉市花見川区）、7月にリハビリセンター東逗子（神奈川県逗子市）、8月にルネサンス宮崎（宮崎県宮崎市）、ドゥミルネサンス池袋東口（東京都豊島区）、9月に元気ジム両国（東京都墨田区）をオープンいたしました。その結果、当第2四半期会計期間末の施設数は、直営106クラブ、業務受託6クラブ、通所介護4施設の計116施設となりました。

既存クラブの改装及び設備更新は、5月にルネサンス稲毛（千葉市稲毛区）、ルネサンス石神井公園（東京都練馬区）、6月にルネサンス両国（東京都墨田区）、8月にルネサンス・アルザ泉大津（大阪府泉大津市）、ルネサンス福岡西新（福岡市早良区）、ルネサンス福山春日（広島県福山市）、ルネサンス新所沢（埼玉県所沢市）、ルネサンス浦安（千葉県浦安市）、ルネサンス大分（大分県大分市）、9月にルネサンス小倉（北九州市小倉北区）、ルネサンス西国分寺（東京都国分寺市）、において実施し、施設環境の整備と魅力向上に努めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は200億63百万円となり、前年同期に比べ5.6%増となりました。営業利益は9億64百万円（前年同期比33.1%増）、経常利益は8億90百万円（同4.9%増）、四半期純利益は4億98百万円（同7.3%増）となりました。

また、当事業年度におきましても、中期経営計画の達成に向けて、新たな事業領域の創出につながる活動や、在籍会員の帰属意識向上につながるプログラム開発やイベント等の実施に取り組んでおります。当第2四半期累計期間における主なトピックスは以下のとおりです。

・ 脳を活性化するオリジナルメソッド「シナプソロジー」の普及に向けた取り組み

「シナプソロジー」は、これまでスタジオプログラムや、自治体の「認知症予防教室」、企業の「メンタルタフネスセミナー」等に展開していましたが、新たにプールで行うプログラム「水中シナプソロジー」を開発し、4月より全国8ヶ所のクラブに導入いたしました。「シナプソロジー」は、当期間において72クラブで展開されております。

また、5月には「シナプソロジー」を解説した初めての書籍となる『1日5分で脳が冴えるシナプソロジー』を株式会社中経出版より発売いたしました。今後、さらに多くの方々への普及を図ってまいります。

・ ランナーのための水中トレーニングプログラム「ミズノアクアラン」の導入

美津濃株式会社が開発したランナーのための水中トレーニングプログラム「ミズノアクアラン」を、7月より全国12ヶ所のクラブに導入いたしました。

「ミズノアクアラン」は、安全で効果的に美しく走るために、水中での浮力により膝や腰の負担を軽減しつつ、ランニングに重要な心肺機能や筋力、身体の柔軟性を高めるプログラムです。ランニングを切り口にしたことで、新たなプール利用者の開拓にも繋がっております。

当社の報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。以下では、より詳細な区分に分類し開示を行っております。

① 区分別売上高

当第2四半期累計期間における販売実績を各区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期 累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門合計	10,985,993	+4.7
スイミングスクール	3,396,190	+7.4
テニススクール	1,723,309	+2.8
その他スクール	734,764	+3.5
スクール部門合計	5,854,264	+5.5
プロショップ部門	706,860	△16.3
その他の収入(注)2	2,130,231	+18.4
スポーツ施設売上高計	19,677,350	+5.3
業務受託	218,275	△7.3
その他売上	168,302	+100.8
売上高合計	20,063,929	+5.6

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「その他の収入」は、スポーツクラブ施設に付帯する駐車場、プライベートロッカー等の収入であります。

## ② フィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況

当第2四半期会計期間末におけるフィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況を示すと、次のとおりであります。

部門	当第2四半期 会計期間末(名)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門計	251,788	+2.1
スイミングスクール	94,839	+6.4
テニススクール	35,078	+4.6
その他スクール	16,203	+4.2
スクール部門計	146,120	+5.7
会員数合計	397,908	+3.4

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## イ. 資産

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ17億34百万円増加し、287億76百万円となりました。これは主に、新規出店に伴いリース資産が増加したことにより有形固定資産合計が18億55百万円増加したこと、投資その他の資産が1億円減少したことによるものです。

## ロ. 負債

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ14億49百万円増加し、183億14百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことにより流動負債合計が4億12百万円増加したこと、新規出店に伴いリース債務が増加したことにより固定負債合計が10億36百万円増加したことによるものです。

## ハ. 純資産

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ2億85百万円増加し、104億61百万円となりました。これは主に、四半期純利益4億98百万円を計上したこと、また前事業年度末配当金2億13百万円を支払ったことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は前事業年度末に比べ1億17百万円減少し、7億4百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間 10億42百万円（前年同期 13億77百万円）

営業活動により得られた資金は、10億42百万円（前年同期比24.3%減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益8億68百万円（同6.6%増）、減価償却費8億23百万円（同1.6%増）、法人税等の支払額5億69百万円（同28.7%増）によるものです。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間△8億56百万円 (前年同期△8億79百万円)

投資活動に使用した資金は、8億56百万円 (前年同期比2.6%減) となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億3百万円 (同67.0%増)、敷金及び保証金の回収による収入64百万円 (同13.4%増) によるものです。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間△3億3百万円 (前年同期△5億5百万円)

財務活動により使用した資金は、3億3百万円 (前年同期比39.9%減) となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出10億81百万円 (同9.8%減)、長期借入れによる収入6億円 (同20.0%増) によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日公表の第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じました。詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期第2四半期 (累計) 業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料の公開時点において、平成25年5月8日公表の通期業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	795,186	676,312
売掛金	765,073	759,498
商品	242,013	215,278
その他	1,590,119	1,714,690
貸倒引当金	△10,099	△9,773
流動資産合計	3,382,293	3,356,006
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,846,046	5,214,280
リース資産(純額)	4,656,681	5,944,449
その他(純額)	2,879,756	3,079,636
有形固定資産合計	12,382,484	14,238,366
無形固定資産		
	739,731	745,531
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,130,105	8,242,325
その他	2,407,542	2,194,468
投資その他の資産合計	10,537,647	10,436,794
固定資産合計	23,659,863	25,420,691
資産合計	27,042,156	28,776,698
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	* 196,705	218,899
買掛金	86,767	62,753
短期借入金	600,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,133,000	1,928,000
未払法人税等	624,793	424,932
前受金	455,807	465,468
賞与引当金	577,282	677,815
資産除去債務	1,618	21,326
その他	* 3,047,920	3,237,312
流動負債合計	7,723,894	8,136,507
固定負債		
長期借入金	2,817,000	2,540,500
リース債務	4,582,890	5,842,855
退職給付引当金	363,599	387,391
資産除去債務	598,580	606,517
その他	779,735	801,178
固定負債合計	9,141,805	10,178,442
負債合計	16,865,700	18,314,950



(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	5,208,279	5,493,273
自己株式	△182	△182
株主資本合計	10,175,451	10,460,444
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,005	1,303
評価・換算差額等合計	1,005	1,303
純資産合計	10,176,456	10,461,748
負債純資産合計	27,042,156	28,776,698

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	19,005,759	20,063,929
売上原価	17,513,498	18,317,894
売上総利益	1,492,261	1,746,034
販売費及び一般管理費	※1 767,382	※1 781,227
営業利益	724,878	964,807
営業外収益		
受取利息	16,811	16,211
受取手数料	51,188	58,453
受取補償金	※2 158,111	—
その他	16,638	15,334
営業外収益合計	242,750	89,999
営業外費用		
支払利息	106,856	143,647
その他	11,812	20,644
営業外費用合計	118,668	164,292
経常利益	848,960	890,514
特別利益		
固定資産売却益	1,061	—
特別利益合計	1,061	—
特別損失		
固定資産除却損	19,300	17,060
減損損失	15,525	—
その他	902	5,047
特別損失合計	35,728	22,108
税引前四半期純利益	814,294	868,406
法人税、住民税及び事業税	302,375	372,443
法人税等調整額	47,055	△2,816
法人税等合計	349,430	369,627
四半期純利益	464,863	498,779

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	814,294	868,406
減価償却費	810,560	823,350
減損損失	15,525	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,952	23,791
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	148	△325
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,127	100,533
受取利息及び受取配当金	△16,856	△16,260
支払利息	106,856	143,647
固定資産除却損	19,300	17,060
売上債権の増減額 (△は増加)	27,677	5,574
たな卸資産の増減額 (△は増加)	90,351	43,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	123,192	△1,819
前受金の増減額 (△は減少)	△492	9,660
その他	△98,159	△261,111
小計	1,923,573	1,756,456
利息及び配当金の受取額	153	146
利息の支払額	△103,613	△144,355
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△442,784	△569,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,377,328	1,042,357
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△541,012	△903,273
無形固定資産の取得による支出	△112,926	△28,562
敷金及び保証金の差入による支出	△332,619	△62,747
敷金及び保証金の回収による収入	56,798	64,402
その他	50,410	73,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△879,349	△856,276
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	500,000
長期借入れによる収入	500,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△1,199,000	△1,081,500
リース債務の返済による支出	△57,648	△109,414
配当金の支払額	△148,764	△212,725
その他	△35	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△505,448	△303,639
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,469	△117,558
現金及び現金同等物の期首残高	813,708	821,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 806,239	* 704,409

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。  
 なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の事業年度末日満期手形が、事業年度末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
支払手形	39,127千円	—
設備関係支払手形(流動負債その他)	90,452千円	—

(四半期損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給料及び賞与	229,648千円	205,825千円
賞与引当金繰入額	50,953千円	54,089千円

## ※2 受取補償金の内容

震災以降休業しているクラブにおける逸失利益等に対する東京電力(株)からの補償金であります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	777,883千円	676,312千円
預け金(流動資産その他)	28,355千円	28,097千円
現金及び現金同等物	806,239千円	704,409千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月22日 取締役会	普通株式	149,651	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月24日 取締役会	普通株式	213,786	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している関連会社は、利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社の報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	21.74円	23.33円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	464,863	498,779
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	464,863	498,779
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,378	21,378

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。